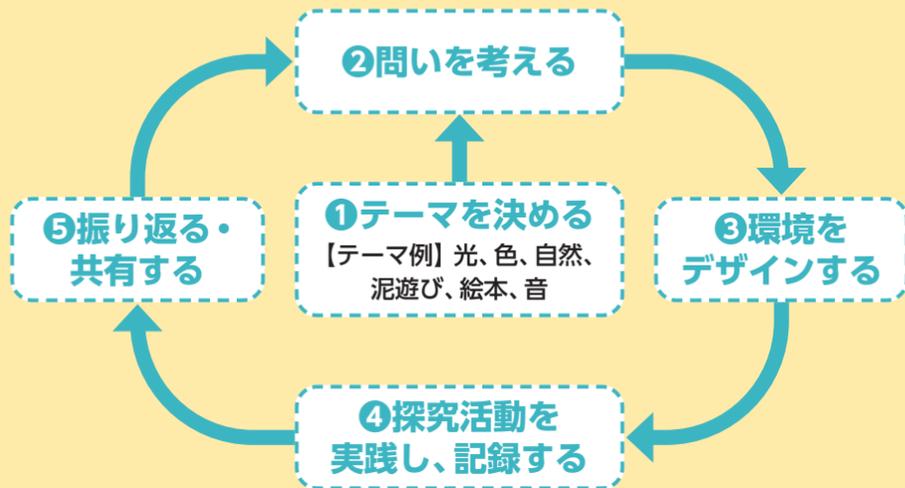


探究活動の流れ

各園の特徴や強みを活かしながら
 こどもたちの興味・関心に応じて探究活動を実践



- ① こどもたちの興味・関心を深められそうなテーマを設定します
- ② テーマに関するこどもたちの考えやイメージを聞き出すための問いを準備します
 ○○ってなあに？ ○○って見たことある？
- ③ 素材や道具を準備し、環境を整えます
- ④ 探究活動を実践し、記録します
 好奇心・探究心を高められるような言葉掛け
 言葉・表情等の多様な表現に耳を傾け、メモ・写真・映像等で記録
- ⑤ 保育者同士やこどもたち同士で活動を振り返ります
 こどもたちの活動を保護者らと共有します
 探究をさらに深めるための新たな問いや環境のデザインを考える

色の世界を楽しむ 塩崎保育園



宮崎園長

色を通して、こどもたちの主体性を育てる

「楽しい時はピンク色」「強くなりたいたから黒の服を着る」など、こどもたちはそれぞれ色へのイメージを持っています。こどもたちと一緒に色の世界を探究するべく、「色」をテーマに活動しています。「うれしい」「悲しい」といった感情の色を考えてみたり、自分の好きな色を探してみたり、さまざまな色で今の気持ちを描いてみたり。はじめは自分の気持ちをうまく話せなかった子ども、「今の気持ちはこの色」と表現できるようになってきました。「色に込められた気持ちに耳を傾けて、一人ひとりの『過程』を大切にしています」と宮崎園長。色を通じて、こどもたちの新たな一面がたくさん見えてきました。

塩崎保育園の取り組みが東京都のYouTubeチャンネルで紹介されています。



表現遊びを通して さまざまな育ちが みどり幼稚園

一人ひとりの「こうしたい！」の膨らみを大切に

この日は、4歳児クラスが、表現遊びの発表の場である「こども会」を間近に控え、笑顔いっぱい劇遊びを楽しんでいました。

台本はありません。絵本や、お話のごっこ遊びをみんなで楽しんだ体験などから、イメージを膨らませ、自分なりの動きや、友達とのやりとりが生まれます。繰り返し楽しむ中で、一人ひとりに「今度はこうしてみたい」という思いが湧いてきます。先生のさりげなくも意図的な援助で、それらを友達と共有し、どんどん表現する楽しさが増していきます。この営みこそが「探究活動」になっています。貞方園長は「楽しさをたっぷり味わいながら、自分なりの動きや考えが認められ、思いが遂げられる体験を通して、主体性や自己肯定感なども育まれています」と話していました。



貞方園長

みんなとの劇遊び
楽しかったよ！

